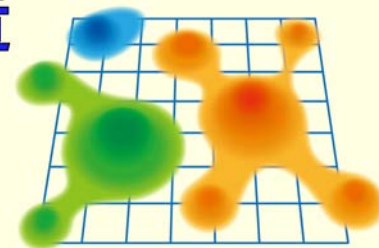


非平衡系におけるゆらぎと構造



Fluctuation & Structure

日本物理学会 第73回年次大会
新学術領域研究「ゆらぎと構造」
共催シンポジウム

2018年 3月22日 (木) 13:30-17:00

会場: 東京理科大学(野田キャンパス) K604

プログラム

- 13:30-13:50 佐野雅己 (東大理)
「趣旨説明」
- 13:50-14:15 佐々真一 (京大理)
「ゆらぎの理論と構造の理論」
- 14:15-14:40 小林研介 (阪大理)
「量子多体系における対称性とゆらぎ」
- 14:40-15:05 齊藤圭司 (慶大理工)
「熱力学的コストと非平衡定常ゆらぎにおけるトレードオフ関係」
- 15:05-15:20 休憩
- 15:20-15:45 笹本智弘 (東工大理)
「1次元非平衡系におけるKPZ揺らぎの普遍性」
- 15:45-16:10 長屋智之 (大分大理工)
「電気対流によって誘起された液晶の負の粘性」
- 16:10-16:35 澤井哲 (東大総合文化)
「フェイズフィールドから読み解く細胞変形ダイナミクス」
- 16:35-17:00 今井正幸 (東北大理)
「プロトセル: 情報高分子合成と連携したベシクルの自己生産、そして進化」

日本物理学会 第73回年次大会HP
<http://www.rs.tus.ac.jp/jps2018tus>

新学術領域研究
ゆらぎと構造の協奏: 非平衡系における
普遍法則の確立 (略称「ゆらぎと構造」)
<http://sfs-dynamics.jp>
e-mail:sfs@issp.u-tokyo.ac.jp

K会場(講義棟) 6階

